

## 【平成 31 年 1 月期 小規模企業景気動向調査報告書】

本会では、県下商工会地区内小規模企業の景気を把握するため、商工会の経営指導員に協力依頼し、小規模企業景気動向調査を毎月実施しています。

このたび平成 31 年 1 月期の調査結果がまとまりましたので報告します。

### 1 調査概要

- (1) 調査時点 平成 31 年 1 月 31 日
- (2) 調査対象 県下 35 商工会（うち 34 商工会より回答）【回収率 97.1%】
- (3) 調査対象業種 製造業（食料品・繊維工業・機械金属）、建設業、小売業（衣料品・食料品・耐久消費財）、サービス業（旅館・洗濯・理美容）の 10 業種
- (4) 調査方法 商工会の経営指導員に対するアンケート方式
- (5) 集計方法 質問項目（業況、売上、仕入単価、採算、資金繰り）の「好転・増加・上昇」とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

### 2 概要（トピックス）

#### 【西部地域の建設業、製造業（機械金属）の好調が全体の景況感を押し上げ】

産業全体の業況 DI（景気動向指数・前年同月比）は-8.4（前月-14.2、前年同月-8.6）で、前月比 5.8pt 好転した。西部地域を中心に建設業者への台風被害による補修依頼が安定していたこと、自動車関連分野の受注が安定していたこと等が影響して全体の景況感を押し上げた。

#### 【製造業】

業況は-7.9（前月-9.8、前年同月-1.8）と前月に比べ 1.9pt 好転した。桜えび関連業者等、食料品メーカーは原材料価格の上昇により厳しい状況である一方、西部地域を中心とした自動車関連分野は好調であった。

#### 【建設業】

業況は 2.9（前月-11.8、前年同月-5.4）と前月に比べ 14.7pt 好転した。10 月に発生した台風による被害が大きかった西部地域を中心に、依然として補修工事に係る需要が大きいものの、徐々に引合いも落ち着きを見せ始めており、今後の需要動向に注視する必要がある。

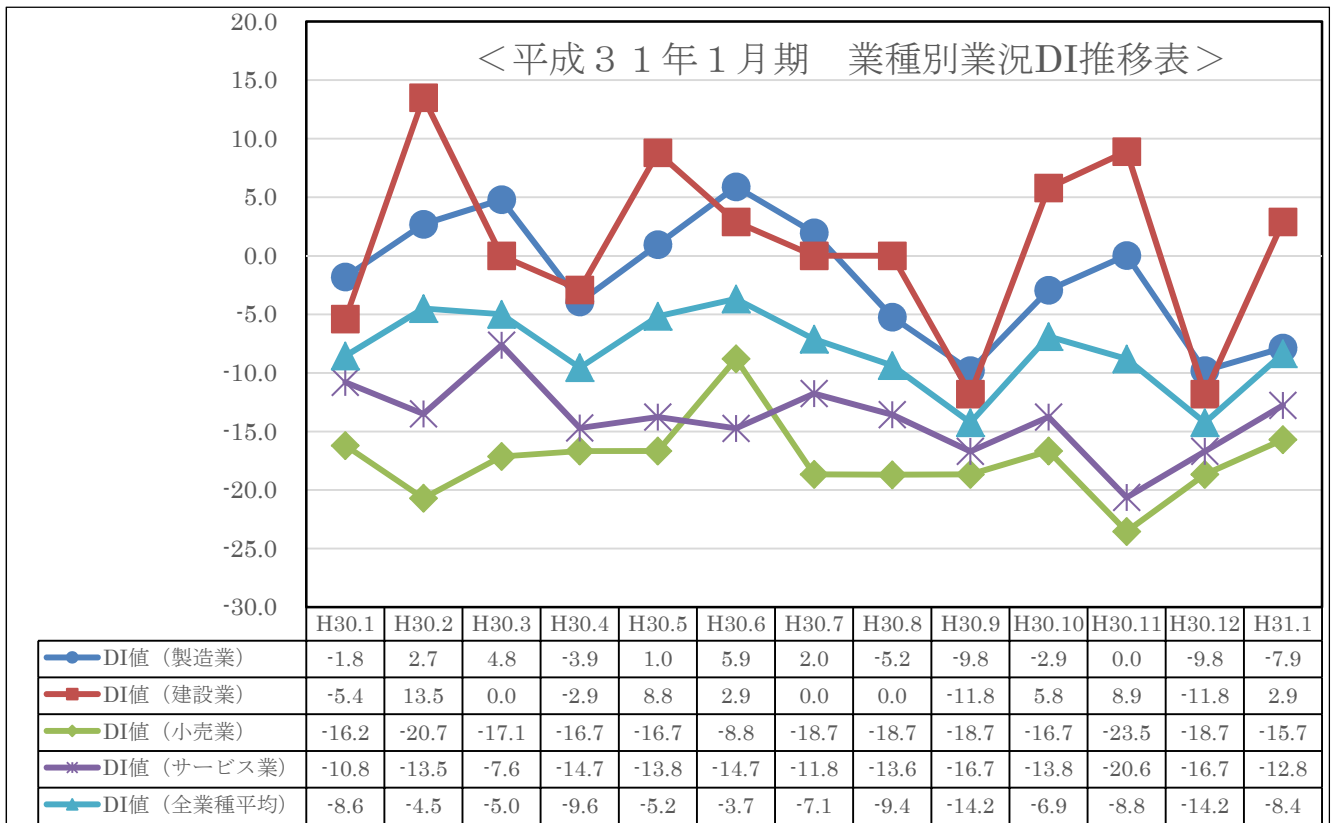
#### 【小売業】

業況は-15.7（前月-18.7、前年同月-16.2）と前月に比べ 3.0pt 好転した。暖冬の影響により販売が不調であった衣類品は、正月セールスの効果もあり業況が改善されたほか、食料品についても概ね順調であった。

#### 【サービス業】

業況は-12.8（前月-16.7、前年同月-10.8）と前月に比べ 3.9pt 好転した。正月休みが長かったことや天候に恵まれたことから宿泊関連が好調であったほか、クリーニングについても例年より受注が好調であるとの声が聞かれた。

**3 本調査に関する問合せ** 静岡県商工会連合会 産業振興課 TEL054-255-9811〔担当：高野・中村〕



＜経営指導員コメント抜粋＞

【製造業】(食品製造業・繊維工業・機械金属業)

- ・受注は不安定であるが、昨年度よりは忙しい。仕入単価が増加傾向にある一方、請負単価は据置となっているため、採算が悪化している。(伊豆)
- ・原料費の高騰が続いており、経費削減努力により何とか利益を確保している。(富士駿東)
- ・桜えびを取扱う食品メーカーは、厳しい状況が続いている。(中部)
- ・自動車関連事業は好調だが、織布は横ばい。依然として人手不足が課題。(中東遠)
- ・自動車関連事業は、十分な受注が確保できており、当面の見通しも明るい。(西遠)

【建設業】

- ・地域内の需要が冷え込んでおり、受注の動きは弱いように感じる。(伊豆)
- ・台風被害への対応はひと段落し、昨年並みに推移している。(富士駿東)
- ・ハウスメーカーによる攻勢が強くなり、地元ハウスメーカーは苦戦している。台風被害の補修工事については、依然として多い。(中部)
- ・台風被害への対応が依然として多く、受注は安定しているが、人手不足が深刻であり、若手人材確保の相談が多い。(中東遠)
- ・受注は安定しているが、従業員の退職により、外注に依存せざるを得ない状況にある。(西遠)

【小売業】(衣料品小売業・食品小売業・耐久消費財小売業)

- ・生鮮品の販売価格は安定しており、需要も安定している。(伊豆)
- ・暖冬や少雨の影響から野菜等の生鮮品の供給が安定しない。(富士駿東)
- ・桜えびに係る商材を扱っている企業は総じて厳しい状況。小売店については、桜えびの在庫がなくなり、シラスの販売や台湾産桜えびへの切り替え等の対応を迫られている。(中部)
- ・インフルエンザの流行を受け不要な外出を避けているためか、全体的に低調。(中東遠)
- ・国道 152 号線の通行止め解除の効果から売上は通常期まで回復している。また、年明けセールの効果もあり、売上は増加している。(西遠)

【サービス業】(旅館業・洗濯業・理美容業)

- ・正月休みが長かったためか、宿泊利用は好調であった。(伊豆)
- ・飲食店では、消費税軽減税率制度の開始を前に、テイクアウト品との税率区分け等、業務負担の増加に不安を感じているとの相談があった。(富士駿東)
- ・サービス業全体として悪い状況が続いている。(中部)
- ・クリーニングは、昨年よりも売上が増加した。美容関連では、キャッシュレス化への対応に向けた研修等を組合が主体となり開催しているとのこと。(中東遠)
- ・理美容は、成人式に係る需要が期待されたが、少子化の影響から需要は少なかった。(西遠)

小規模企業景気動向調査（平成31年1月末）

1.食料品製造業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-26.4	-26.4	不変
売上	-17.6	-14.7	減少
仕入単価	3.0	14.7	低下
採算	-26.5	-20.6	悪化
資金繰り	-14.7	-8.8	悪化

2.繊維工業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-8.9	-11.8	好転
売上	-11.8	-8.9	減少
仕入単価	5.9	5.9	不変
採算	-11.7	-8.8	悪化
資金繰り	-5.9	-5.9	不変

3.機械金属業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	11.7	8.8	好転
売上	14.7	14.7	不変
仕入単価	23.6	32.4	低下
採算	-5.9	-2.9	悪化
資金繰り	0.0	-2.9	好転

4.建設業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	2.9	-11.8	好転
売上	0.0	5.9	減少
仕入単価	23.5	29.5	低下
採算	-5.9	-14.7	好転
資金繰り	-11.8	-8.9	悪化

5.衣料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-20.6	-29.4	好転
売上	-26.5	-23.5	減少
仕入単価	-2.9	-3.0	上昇
採算	-20.6	-23.5	好転
資金繰り	-20.6	-20.6	不変

6.食料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-14.7	-20.6	好転
売上	-17.7	-11.7	減少
仕入単価	17.6	17.6	不変
採算	-32.4	-20.6	悪化
資金繰り	-11.7	-2.9	悪化

7.耐久消費財小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-11.8	-6.0	悪化
売上	-14.7	8.8	減少
仕入単価	14.7	17.7	低下
採算	-14.7	-5.9	悪化
資金繰り	-17.6	-5.9	悪化

8.旅館業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-5.9	-8.9	好転
売上	-8.8	-2.9	減少
仕入単価	8.8	14.7	低下
採算	-5.9	-5.9	不変
資金繰り	-8.8	-5.9	悪化

9.洗濯業

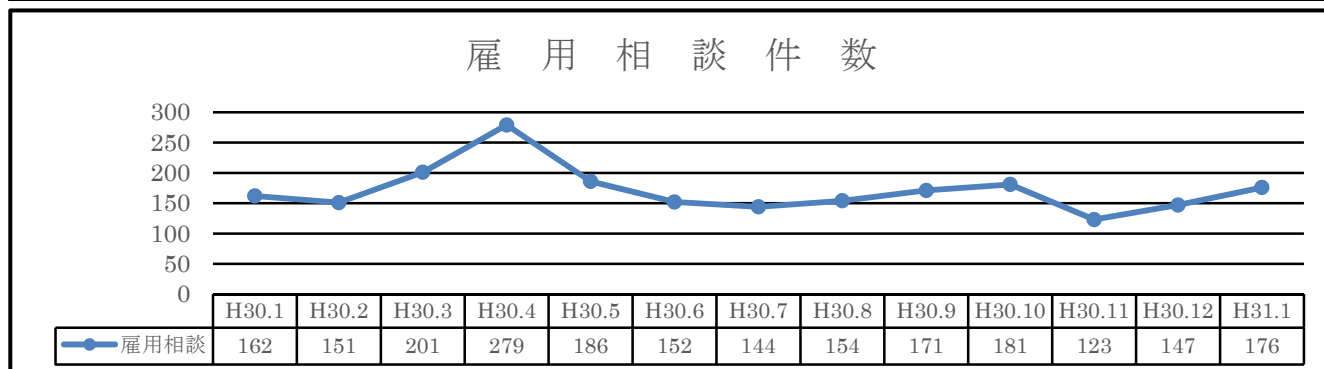
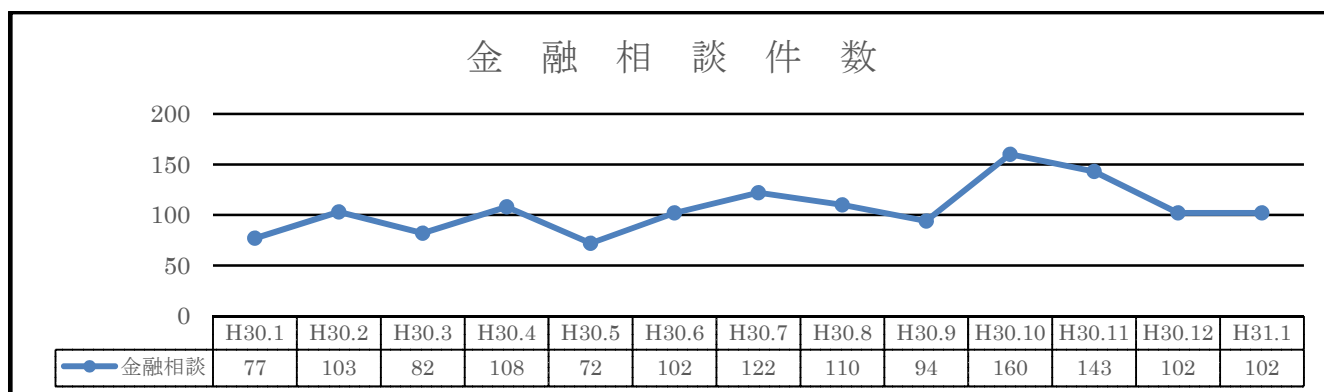
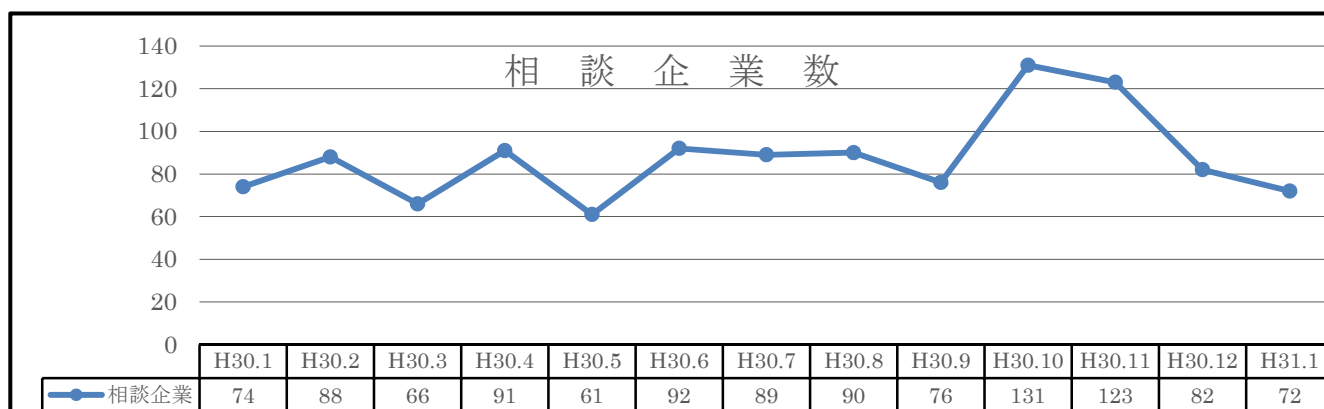
	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-17.7	-29.4	好転
売上	-14.7	-17.7	増加
仕入単価	11.8	17.6	低下
採算	-14.7	-14.7	不変
資金繰り	-14.7	-11.8	悪化

10.理美容業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-14.7	-11.8	悪化
売上	-5.9	3.0	減少
仕入単価	2.9	0.0	上昇
採算	-11.8	3.0	悪化
資金繰り	-8.8	0.0	悪化

## 金融・雇用相談実績月次報告(平成 31 年 1 月期)

内容別内訳 (※ 1 件の相談で複数の対応をした場合はそれぞれにカウント)	今月	前月	前月比
【相談企業数】	72	82	-10
【金融相談件数】	102	102	0
新規融資（借換えを除く）	63	59	4
既存債務の借換え	33	37	-4
借入れ条件変更	1	1	0
消費者金融・商工ローン関連	0	0	0
貸し渋り・貸し剥がし	0	0	0
その他	5	5	0
【雇用相談件数】	176	147	29



## 【金融相談】

金融相談件数は、102件と前月(102件)に比べ変化はなかった。各地において設備投資に係る新規融資についての相談が見られた。一方で、財務状況が悪い企業については、リスクの再延長を希望する等、経営改善に至っていない様子も見て取れた。

### <経営指導員コメント>

- ・設備投資に係る資金相談が多かった。(伊豆)
- ・例年になく資金需要が低調である中、業務拡大に伴う設備資金の相談があった。(富士駿東)
- ・製造業者による機械装置導入に係る設備資金の相談があった。(中部)
- ・既存融資の借換えを含む運転資金の相談等、資金繰り改善に係る相談が多い。(中東遠)
- ・既存融資のリスクを受けている先について、通常返済化が困難なため、リスクの再延長に係る相談を受けた。(西遠)

## 【雇用相談】

雇用相談件数は、176件と前月(147件)に比べ29件増加した。各地において、行政等と連携した就職フェアを開催しているものの、企業側と就職企業者側の雇用条件のミスマッチ等により、なかなか問題が解消されない状況である。

### <経営指導員コメント>

- ・行政と商工会、公共職業安定所が連携し、就職フェアを開催予定。現在、地域内企業30社程度がエントリーしており、人手不足に係る課題の深刻さを物語っている。(富士駿東)
- ・求人を希望する企業に対し、複数の無料求人手段を提案するものの、人材確保は難しい状況。(中部)
- ・行政と連携した就職希望者向けミニ面接会を開催したが、企業側と就職希望者側との雇用条件にミスマッチが見られた。(中東遠)
- ・外国人技能実習生の雇用にあたっての注意事項等、具体的な相談があった。(西遠)

## 【その他商工会管内に関するコメント】

- ・河津桜の開花が例年より1週間程度早く、2月中に観光客が集中する見込み。(河津町)
- ・商工会主催の軽トラ市を1月26日に開催したほか、1月20日には天竜浜名湖鉄道遠州森駅において「森の古着市」を開催した。
- ・次年度卒業生を対象とした近隣2市合同就職フェア(3,4月開催)参加企業を募集したが、当初想定していた以上の企業から参加申込があった。(浅羽町)
- ・空き店舗を活用したプロジェクト構想を行っている。(天竜)
- ・商工会が中心となり、コワーキング&シェアオフィス事業の実施を検討している。(浜北)
- ・今シーズンは海苔の生育が悪く、需要期の収量が確保できなかった。(浜名)
- ・台風等の被害により、養殖牡蠣の漁獲高が半分程度となっている。(新居町)